

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	市民参画・協働	1	市政への市民参画推進

事業名	受章者表彰式(一般事務事業)	担当課名	秘書広報課
-----	----------------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	叙勲、褒章、大臣表彰・知事表彰を受章され、永年、行政に関わり活躍された方(団体)を祝い表彰すること。
(事業概要等)	本市在住で、叙勲、褒章、大臣表彰・知事表彰を受章された方(団体)を招き、その功績をたたえ市役所内で表彰・記念品の贈呈と記念写真の撮影を行う。平成24年度までは商工会議所と共催で、参加者より負担金を徴収し、祝賀会として開催していたが、平成25年度より本市単独事業となり、受章者のみを招待し、表彰式として執り行っている。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	142	138	123	0	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
叙勲・褒章・大臣・知事表彰受章者数	人	13	12	19	
受章者祝賀会(表彰式)受章者出席者数	人	11	9	12	
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
表彰式を催し、功績を称えることにより、より一層市政への協力を仰ぎ、本市の発展に繋がっている。さらに表彰式の様子を広報紙に掲載する事により、一般市民への周知を図るとともに受章者以外の市民の市政参加意識を促すことにも繋がっている。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成21年度から参加負担金の見直しを行い、市の負担金の軽減を図ってきた。平成24年度までは泉大津商工会議所と共催としていたが、平成25年度より商工会議所が本事業から撤退したことや、経費削減のため本市単独事業として規模縮小のうえ 表彰式典を行っている。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 表彰の条件が叙勲・褒章・大臣表彰・知事表彰を受賞した市民となっていることから、市に貢献しても市民でなければ表彰できない・他市に貢献しても市民であれば表彰するという矛盾があるため。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	市民参画・協働	1	市民参画・協働

事業名	新年互礼会事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

### 【事業の概要】

#### (事業の目的・趣旨)

市関係者並びに市内にある各企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図ること。

#### (事業概要等)

市内の各企業、団体の関係者等を招き、新年の挨拶を行った後、親睦を深めるとともに、今後の市政への協力を仰ぎ、意見・情報交換を行う。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	325	322	342	380	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
新年互礼会案内状郵送者数	人	625	513	494	
新年互礼会参加者数	人	約350	約300	約300	

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	限られた予算のなかで、事業費の削減を行ってきた。
--------	--------------------------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍により、令和2年度の開催は中止となった。今後、開催方法などについて検討する必要がある。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 様々な方が出席し、親睦を深め、意見・情報交換を行うことによって、市政への理解や協力を得ることができ、本市への発展に繋がると思われる。そのため、参加者同士の懇談時間を長く設けることにより、更に活発な意見、情報交換の場を提供していく。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	力を合わせて市民の笑顔 があふれるまちづくり	市民参画・協働	1	市政への市民参画推進

事業名	有功者表彰事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
年、市の行政、教育、文化、産業および社会福祉などの増進その他公益に関し、その功労が顕著な者に対し て市民とともに表彰すること。
(事業概要等)
毎年、文化の日(11月3日)に表彰状、有功章および記念品を送り、表彰式典を行う。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	663	695	685	963	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
有功者表彰式典開催数	回	1	1	1	1
泉大津市有功者表彰式案内郵送数	人	504	469	561	20
新たな有功者	人	3	3	5	5
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
永年、市に貢献された方々を市民とともに祝い、行政と市民の距離を縮めることにより、親睦が深まり、様々な 意見交換がなされるようになった。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成21年度より参加負担金を徴収している。 祝賀会で食事を提供する際に、仕出屋にテクスピア大阪まで配達してもらっていたが、食中 毒等の衛生面を考慮し、令和2年度よりホテル開催に変更した。ホテルで調理から提供行うこ とで、安全に食事を提供する。
--------	--

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	市民会館が平成28年度に閉館したため、平成29年度からはテクスピア大阪で開催していた が、令和2年度よりホテルで開催する。開催場所が変わることで混乱が起きないように、事前 準備を徹底する。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式であ り、今後も継続して行うことを考えている。
	改革・改善 策等の具体 的内容	令和2年度について、コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して実施する。約100人 来ていた招待者も約20人に制限し、飲食を伴う祝賀会は中止する。 令和3年度に関しては、コロナウイルス感染症の状況のみて開催規模を判断する。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	文化・芸術・スポーツ	2	文化芸術スポーツ活動の支援

事業名	文化フォーラム事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------	------	-------

### 【事業の概要】

#### (事業の目的・趣旨)

泉大津市文化振興条例に基づいて策定された泉大津市文化芸術振興計画を推進し、市民の文化芸術に対する関心と造詣を深めるため、また、市外の人に本市の取組を知ってもらい、泉大津市のイメージアップを図るために行うもの

#### (事業概要等)

著名な作家や研究者などを講師に招き、講演会を開催。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,360	3,186	2,796	3,286	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
実施回数	回	6	5	4	4
来場者数	人	1,912	1,350	1,046	-
来場者の満足度(満足、どちらかといえば満足と回答した割合)	%	89	89	97	-

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

著名な作家や研究者などを講師に招くことで、市内外から多くの来場者が訪れ、「いずみおまつ」の知名度向上につながった。満足度も90%以上と来場者に満足いただいている。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	講演メニューに応じ、チラシを配布依頼する施設などを変更したり、タウン紙などへ掲載依頼するなど、少しでも多くの来場者を獲得するため方策を行ってきた。幅広い世代の方にも来ていただけるよう、講演メニューの見直しを行うとともに、一時保育を設けた。また、市民ニーズを反映するため、講師選定の際、広報モニターアンケートを活用した。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	本事業は、泉大津市のイメージアップ(シティプロモーション)の側面もあるが、主たる目的は文化芸術の振興であることから、秘書広報課で行っていくことが適切かどうか、他事業との連携や統合についても検討する必要がある。また、コロナ禍における事業実施の在り方を検討する必要がある。
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	B 要改善	(左記評価の理由) コロナ禍における事業実施の在り方を検討する必要がある。また、他事業との連携や統合についても検討を行っていく。
改革・改善策等の具体的内容	他の講演事業のやり方やコロナ対策について調査研究し、コロナ禍における事業実施の在り方を検討していく。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	誇れる・選ばれる・集える まちづくり	商工業	1	地域ブランドの活用と確立

事業名	マスコットキャラクター運営事業	担当課名	秘書広報課
-----	-----------------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市のマスコットキャラクターを作成し様々な場で活用することで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティセールス(地域PR)を図る。
(事業概要等)
市制施行70周年を機に市マスコットキャラクター「おづみん」を募集・制作し、イラストやグッズによるPRのほか、着ぐるみによる各種イベント、メディアへの出演により、広くシティプロモーションを図った。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,045	2,670	2,912	2,845	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
イラスト使用承認件数(一般向け)	件	25	24	36	15
着ぐるみ参加イベント数	件	110	94	77	10
着ぐるみ貸出件数(一般向け)	件	46	37	26	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市のマスコットキャラクターとして、地域のイベントにおいて活用することで、市民の郷土愛の醸成に大きく寄与している。また、「おづみんTwitter」の開設により、市内外を問わず、広く本市のシティセールス(地域PR)を図ることができた。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	着ぐるみ活動について、一部民間委託を行った。(平成27年7月) 『おづみんTwitter』を開始した。(平成28年8月)
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域の子ども達からの人気は絶大であり、本市の魅力向上に大きく寄与しているため。また、キャラクターを通じて、本市に関わりのない方にもPRすることができるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	行財政運営	2	歳入の確保

事業名	泉大津市ふるさと応援寄付事業	担当課名	秘書広報課
-----	----------------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と、地元特産品等のPR促進/販売促進との相乗効果を図る。
(事業概要等)	泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に対し、謝礼としてふるさと産品を進呈する。企業に働きかけ、ふるさと産品を充実させるとともに、パンフレット作成、ポータルサイトの活用、各種イベント等でのPRにより、寄附の促進を図る。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	51,262	55,989	196,466	216,680	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
寄附金額	千円	156,612	170,842	462,243	480,000
寄附件数	件	1,707	2,155	14,372	15,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
お礼品の充実、並びに、ポータルサイトの増設など寄附方法の利便性改善を図ったことにより、前年比を大幅に上回る結果となった。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和元年度よりポータルサイトを1つから4つに増やした。
--------	-----------------------------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和元年度より寄附件数が大幅に増加したことから、事務処理が追いつかなくなってきており、事務の効率化を図るため、事務委託の必要性が出てきた。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 歳入確保、並びにシティプロモーションの観点からも、更なる事業の推進が必要であるため、正確に適切に期限内に事務処理を行えるよう、一部委託化を実施する。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報活動事業	担当課名	秘書広報課
-----	--------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページ・フェイスブックなどにより、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図るとともに、シティプロモーション・定住促進を図る。また、さまざまな情報を公開することで行政の透明化を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ホームページやフェイスブックの新規ページ作成や既存ページの更新を行い、情報提供の充実を図る。シティプロモーションや定住促進を図るため、ポスターなどを作成する。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,057	4,663	7,295	5,456	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
ホームページのアクセス数	千円	818,128	967,948	1,175,388	1,300,000
フェイスブックのいいねの数	件	1,258	1,471	1,827	2,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
SNSなども活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上が図られている					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成28年度には、ツイッターによる情報発信も開始。また、泉大津駅改札付近に市の情報発信コーナーを設け、多くの駅利用者により市の魅力、情報の発信を行っている。 平成30年度は、インスタグラムを導入し、市の魅力の新たな発信ツールとして活用している。 令和元年度よりLINEを導入し、新たな情報発信ツールとして活用している。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	1人でも多くの方に情報を届ける、また、必要な情報を必要としている方に確実に届けられるよう、常に検討していく必要がある。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 広報活動は、市民サービスの向上のうえで、必要不可欠な事業。今後も、積極的な広報を進めていく。また、シティプロモーション活動を行い、泉大津のよいところをたくさんの方々知ってもらうことで、泉大津に住み続ける人、新たに住む人、訪れる人の増につなげるなど、定住促進を図っていく。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	市政の情報発信	1	広報活動の充実

事業名	広報紙発行事業	担当課名	秘書広報課
-----	---------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報・イベントなどの情報を市民へ提供することを目的とする。
(事業概要等)
毎月31,000部発行し、自治会配布のほかポスティングにより全戸へ配布。

### 【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	15,587	15,625	14,724	17,583	
うち市負担分(千円)					

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
広報紙配付実数	部(月)	30,932	30,865	30,612	30,800
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自治会未加入者への個別配付数も増えてきているとともに、各施設、駅前、コンビニ、スーパーなどにも配架するなど、多くの市民に広報紙がいきわたるようになってきている。					

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	若者から高齢者まで、より多くの市民に読んでもらうため、より見やすく、分かりやすい紙面になるような工夫を絶えず行っている。平成27年度から広報モニターアンケートを実施し、市民の声を紙面づくりに反映している。平成30年度より市民レポーター制度を導入し、取材や記事づくりにも市民の力を取り入れ、市民にとってより身近な広報紙となるよう努めている。
--------	---

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	市民が必要としている情報を限られた紙面でいかにうまく掲載し、見てもらえるかが重要。
---------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 平成27年度より導入した市民広報モニターを今後も継続して活用し、アンケートなどを通じて、市民目線から意見をもらうことで、より市民目線に立った、見やすく、わかりやすい紙面づくりに努める。また、引き続き、市民レポーターを活用し、取材や記事づくりにも市民の力を取り入れていく。
改革・改善策等の具体的内容	より多くの方からご意見をいただき、紙面づくりに反映させるためLINEアンケートを活用する。	